



ほこ　　しっぱい
誇れる失敗

シリーズ～チェンジ～

2016/11/6

子ども祝福礼拝

パウロの助け手であったマルコ

- ・ パウロがローマで捕らえられていた時、マルコはいっしょにいた
 - 「わたしと一緒に捕らわれの身となっている…
バルナバのいとこマルコが、あなたがたによろしく
と言っています。」コロサイ4:10
- ・ パウロはマルコをたよりにしていた
 - 「マルコを連れて来てください。彼はわたしの務め
をよく助けてくれるからです。」2テモテ4:11
 - 「わたしの協力者たち、マルコ、アリストアルコ、デマ
ス、ルカからもよろしくとのことです。」ピレ1:24



ペトロの助け手でもあったマルコ

- ・ ペトロといっしょにローマにいた
 - 「共に選ばれてバビロン(ローマのこと)にいる人々と、わたしの子**マルコ**が、よろしくと言っています。」1ペトロ5:13
- ・ ペトロの話しをもとに福音書を書いた
 - 初代教父パピアスは、「ペテロの通訳者となっていたマルコが、ペテロから聞いたイエスの言行を、順序正しくではないが、記憶しているかぎり正確に書き記した」と言っている
- ・ マルコはギリシヤ名,ヘブライ名はヨハネ

最初の大失敗

- ・ マルコとイエス様のつながり
 - マルコの母マリアはイエス様の弟子であり、エルサレムにおけるサポーターだった
 - 最後の晩餐はおそらくマルコの家であった
- ・ ゲツセマネの園で逃げる
 - 最後の晩餐の後、興味本位でついて行った
 - 「一人の若者が、素肌に亜麻布をまとってイエスについて来ていた。人々が捕らえようとする、亜麻布を捨てて裸で逃げてしまった。」マルコ 14:51-52





2度目の失敗

- ・ 最初の宣教旅行の際、途中で帰ってしまった
 - 「バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネも連れて行きたいと思った。しかしパウロは、前にパンフィリア州で自分たちから離れ、宣教と一緒に行かなかったような者は、連れて行くべきでないと考えた。」
15:37-38

- ・ マルコのせいでパウロとバルナバはケンカ別れになってしまった
 - 「そこで、意見が激しく衝突し、彼らはずいに別行動をとるようになって、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ向かって船出したが、一方、パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。」15:39-40

マルコを育てた先生たち

- ・ 身近に優しい教師がいた:バルナバ
 - 「慰めの子」と呼ばれたバルナバが、根気強くマルコに寄り添い、励ましつつ教えた
- ・ 身近にきびしい先生がいた:パウロ
 - マルコはローマ行きに同行したか、捕らわれたパウロを追いかけてローマに行った
 - パウロの代筆をしたかも?
- ・ 身近に良い見本がいた:ペトロ
 - 大失敗の大先輩がそばにいた

誇れる失敗

- ・なぜマルコは自分の失敗を記録したのか
 - 「一人の若者が、素肌に亜麻布をまとってイエスについて来ていた。人々が捕らえようとする、亜麻布を捨てて裸で逃げてしまった。」
 - **この記録はマルコ福音書にしか載っていない!**
- ・マルコは「こんな自分だけどイエス様は赦して下さった」と伝えたかったのでは
 - 「ヨセフは亜麻布を買い、イエスを十字架から降ろしてその布で巻き、岩を掘って作った墓の中に納め、墓の入り口には石を転がしておいた。」

15:46

誇れる失敗

・なぜマルコは自分の失敗を記録したのか

- 「一人の若者が、素肌に**亜麻布**をまとってイエスについて来た

亜麻布を捨てた

- この記録は

・マルコは「**この**て下さった」

自分が脱ぎ捨てた亜麻布をイエス様がまとって死んで下さった
>自分の失敗をイエス様が引き受けて下さった

- 「ヨセフは**亜麻布**を買い、イエスを十字架から降ろしてその布で巻き、岩を掘って作った墓の中に納め、墓の入り口には石を転がしておいた。」

15:46